

きずな

思いやる 心で築く 明るい地域



子ども鯛まつり(豊浜小学校)

心は一つ 太鼓の音にあわせて



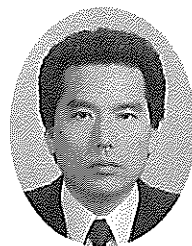
大人も子供に負けず

イチ・ニツ・サン

夏休みラジオ体操(豊浜地区)

部会だより

● 学習・広報部



部長 松本 好平

学習・広報部は、家庭教育、地域教育を考える場の提供や、地区民の意識高揚を図るための広報活動を行います。

テーマ、標語、広報紙名の募集には、地域の皆さんより多数の応募を頂きありがとうございました。広報紙も「きずな」という名に決まり、年二回の発行を予定しています。ふれあい活動、教育環境両部との連携のもとに、各部の活動状況を始め、地区の諸行事の様子や、各種団体主催の行事等、一般区民の皆さんに原稿執筆依頼をしまして写真入りでわかりやすく紹介し、親しみやすい紙面にしたいと思っております。

● ふれあい活動部



部長 石 兼幸

のより良い家庭を築かれますよう期待しています。二月には、講師をお招きして教育講演会を開催致しますので多数の地区民の方にご参加願います。家庭教育、地域教育を考える一助として頂きたいと思っております。以上、部員一同頑張りますのでご協力の程よろしくお願い致します。

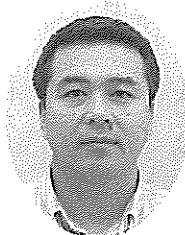
近年における急激な社会情勢の変化により、家庭や地域内の教育機能が低下し、家庭教育についての様々な問題が生じている為、時代に対応した家庭教育の充実が求められています。今日、われわれ日本人は祖先がこの国に残したものの恩恵を受けておりますが、むろん有形のものばかりではありません。宗教、道徳、制度、風俗、学問芸術、そのすべてを含むところの日本の文化、これこそわれ



設立総会 6月30日町保健センター

われが祖先から受け継ぎ、来たる21世紀の子孫に伝えるべき最も大切なものであると思えます。これをわれわれが、ただ祖先からもらったままのものを、次の世代に残すというのではその責を果たしたとはいえないのであつて、なるべく多くのものをつけて加えて次の世代に伝えたい、またそうすることを期すべきではないかと思っております。ふれあい活動部としましては、地区民すべてにこの意義を正しく理解していただき、地区における家族、地区民のふれあいの場をもち、地域ぐるみで家庭教育推進のために実践的活動を進め、望ましい地域環境づくりをしていきたいと思っております。

● 教育環境部



部長 石 兼裕

教育環境部では、健全な青少年育成ができる、地域環境づくりを目指して、活動を行っております。

学習・広報部が、家庭教育推進連絡協議会の、活動のテーマ、標語を募集し、決定されました。それを、地域の方々に見てもらえるように、立て看板を設置する事や、それとは別に、各地区にも家推協掲示板を設けて、家庭教育に対する意識を高めるのに、役立てようという計画をしています。

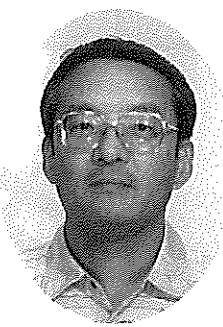
十月には、街角巡視を予定しています。今迄のような郊外指導だけではなく、青少年が不要な夜間外出をしないためには、どのようにしたらいいのかを、考えてみる事が必要ではないのかと、感じております。十一月は、クリーン作戦という、豊浜・豊丘地区の一斉大掃除を、計画しています。他にも、花いっぱい運動という計画もあります。教育環境部では、明るく、きれいな町づくり、そして、地域や各家庭での、青少年への指導、

教育の大切さを再認識してもらえよう活動を、行っています。皆様の、御理解と、御協力を、よろしくお願ひします。

編集後記

皆様に読まれ親しまれてきた「育成」が本年度、応募名により「きずな」に変わりました。記念すべき第一号です。豊浜地区家庭教育推進連絡協議会(青少年を守る会)の新しいテーマを指し、見て楽しく、読んで心が暖まる広報紙にしていきたいと思っております。

学習・広報部のお話をいただいた時には、責任重大でとつても不安でした。編集部会を行うにつれ、部長の温かな人柄、先生方の決断力の速さ、言葉の端々に見られる優しさなどに、私も勉強させていただいています。今回は、原稿依頼や写真など、豊浜・豊丘地区の方々にご心よく引き受けていただき、本当にありがとうございます。色々な催しに参加して、歓声を聞くにつれ、一人でも多くの住人に見てほしいと願いました。お世話をしてくださった人達の気持ちいい汗が見ることが出来ました。人情味あふれる豊浜地区を改めて好きになった私です。部員一同協力して頑張りたいと思っております。御指導、御協力を、よろしくお願ひ致します。



豊浜地区
家庭教育推進連絡協議会
(青少年を守る会)
会長 石黒昇一

豊浜地区々々の皆様にお願い
ましては益々御健勝のこととお
よるこび申し上げます。

さて、このたび愛知県指定
を受け豊浜地区(豊丘も含め)
が家庭教育推進事業に取り組み
ことになり、従来ある「豊浜地
区青少年を守る会」を母体とし
ながら組織をつくり現在三部会
に分かれての活動が始まってお
ります。組織づくりに関しまし
ては区長会や各校PTAを始め、
豊浜地区の各種団体の御協力を
いただき、ありがとうございます。

たくさんの方々から御応募い
ただいた中から思いやる心で
築く「明るい地域」という活動テ
ーマも決定しました。今後はこの
テーマを目標として諸事業を進
めてまいりますので区民の皆様
の御協力をよろしくお願い申し
上げます。
豊浜地区は豊浜小学校区と、

豊丘小学校区に分かれておりま
すが、今回の事業におきまして
は両地区における伝統や独自性
を尊重しながらも、できるだけ
地区全体として取り組んでまい
りたいと思います。

時代の流れもあり、青少年を
とりまく環境も大きく変化して
おります。当地区においても、
教育やしつけに関することは学
校や先生まかせという風潮が今
も残っているようですが、本事
業の推進を通して、学校や地域
そして親や家庭の役割やあるべ
き姿を学んでいきたいと思いま
す。また、親を中心とした三世
代のふれあいの場もいくつか出
来れば地域の活性化にもつな
がるものと期待しております。

二年間の打上げ花火に終わ
ることのないよう、地道に楽し
くやってみようと思っております
ので皆様のお力添えを、よろ
しくお願い申し上げます。

笛の練習

豊浜小六年 浜本健司

五月から、毎週、月水金と笛
の練習をしました。七月の初め
頃、教えてくれたおじさん達が、
「うまくなったね。」とほめてく
れました。だくとほくは、速い
テンポの「おかざき」「おかめ入
り」などが、まだ苦手です。
みんな仲が良く、休憩時間
になると、プロレスなどで遊び
ます。とても楽しいです。
お祭りが間近になり、歩いて
笛を吹く練習をしました。慣れ
ないので少し難しかったです。
鯛祭りの日、「来年から笛を吹
けないんだな。」と思いました。



いざ 出陣

勇みを盛り上げる為に

中洲 大岩文和

奇祭豊浜鯛祭りは、日本の祭
り、世界ジャンボリー等々、各
地に招かれ参加して参りました。
現在では、日本の祭りの中で
もとても有名になったのですが、
子供の少子化、高学歴化に伴い、
青年団員の減少に、年々
危惧を感じておりまし
た。
何か良い策はないかと
考えた末、「子供達に笛
を吹かせてはどうか」と
いう案に到達しました。
早速、中洲区祭礼関係
者、子供達の保護者の
方々の協力によりスタ
トしました。
まず笛が無いのでビ
ニールパイプに穴を開け
て用意しました。子供で
すから教えるにも大変苦
労がありました。
さて、本番とても心配
でしたが、いざ出陣とな
ると、両親、祖父母、区民の皆
さんの「かわいい」「かっこいい」
の大声援が上がりました。大成
功です。

豊浜地区祭礼反省会で、須佐
地区の氏子総代さんより、「須佐
地区も習ってやったらどうか。」
と方向性が示されました。

我が町・我が家

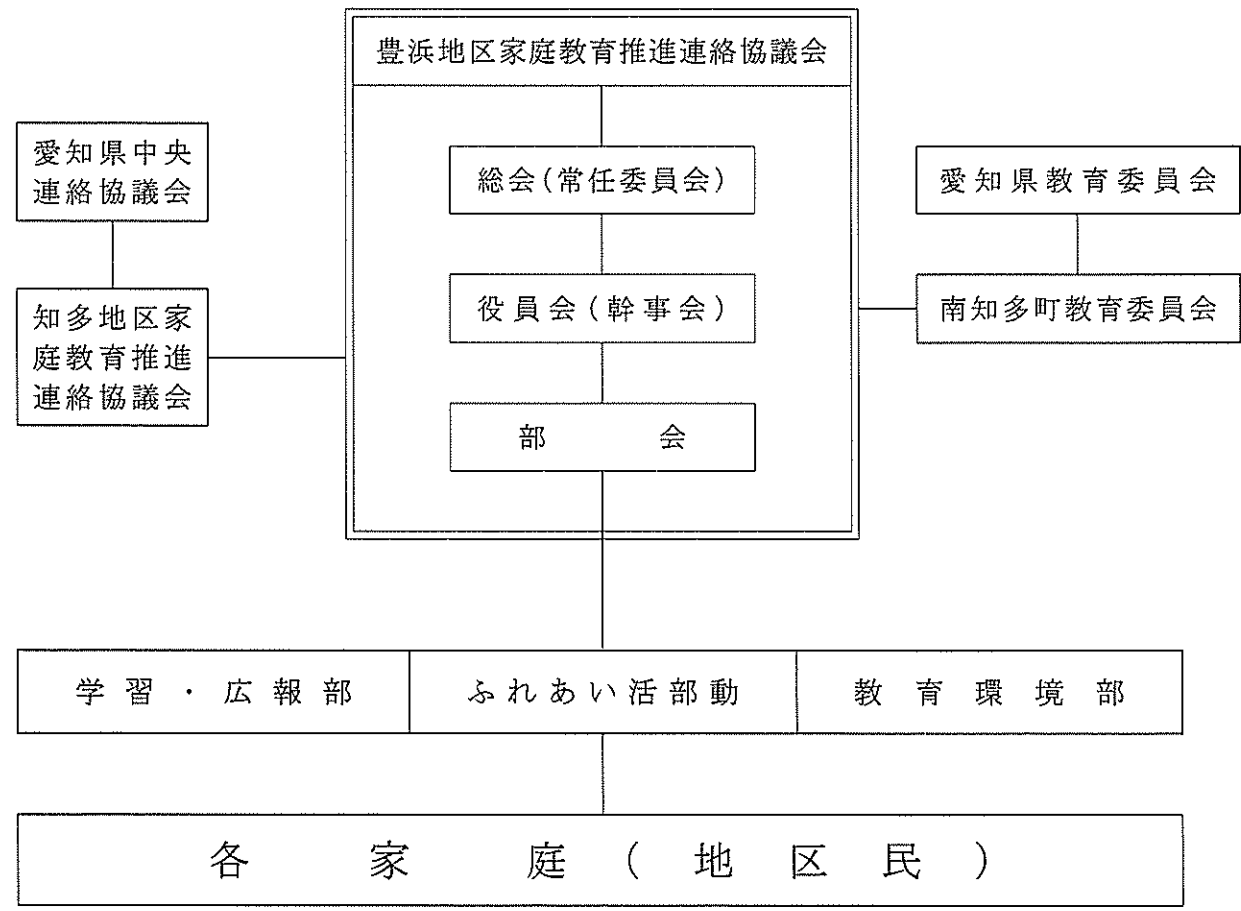
盆踊り

小佐 山本和子

我が家の小学二年生と五歳に
なる娘は、お盆に浴衣を着せて
もらい大はしやぎ。毎年、従姉
妹と一緒に盆踊りに行くのをと
ても楽しみにしています。祖父
は、やぐらの上で唄を歌い、曾
祖母は、踊りを見るのを
楽しみに出掛けます。今
年は残念ながら夜店は、
風船釣りだけでしたが、
子供達はとても楽しんで
いました。子供からお年
寄りまで楽しめる盆踊り
は、我が家の夏の恒例行
事となっています。



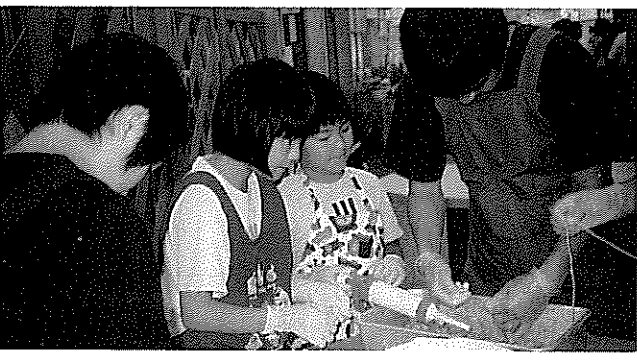
活動組織



我が家の出来事

半月 家田春美

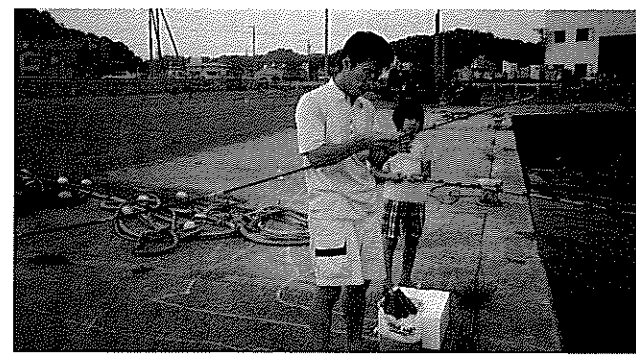
いつもは、家事を手伝ってと
言われてから渋々手伝いをして
くれる子供達ですが、ある時、
仕事の都合で四日程家を留守に
する事になった時の事です。
帰ってみると、中二と小六の
娘が協力して食事を作り、洗濯
をし、私達が帰って来る前日に
は、なんと掃除までしていてく
れたのです。
祖父母が居るとはいえ、家を
留守にする事を心配していた事
が嘘の様でした。
子供達の成長を感じ取る事が
できた我が家の出来事です。



魚つり

豊浜小四年 相川 阿美子

わたしは、お父さんとお兄ちゃ
んとつりに行きました。
半月のていぼうに行きました。
お兄ちゃん、魚がかかった
けどにげられてしまいました。
わたしは、つれたと思って、あ
わててさおをあげたら、お父さ
んのさおからまっつてしまいま
した。
つりは、さおをあげる時が一
番むずかしいと思いました。
今回は、2ひきしかつれなかつ
たけど、次には、2ひき以上を
もくひょうにつりたいです。
とっても楽しかったです。



テーマ・標語・広報紙名の応募結果

総応募人数131名の中から審査の結果、次の作品が選ばれました。

テーマの部 特選

思いやる
心で築く 明るい地域

大岩徳正(中洲)

標語の部 特選

あいさつは
地域みんなの 合言葉

岡田絵美(豊浜中3年)

広報紙名の部 特選

きずな

小久保要子(山田)
大岩徳正(中洲)

◆テーマの部 入選 応募数 37名

- 築こうよ 心ふれあう 豊かな町を 石黒かや子(新居)
- あいさつを 交わしてつくる 地域の輪 天野健太郎(豊浜中2年)

◆標語の部 入選 応募数 108名

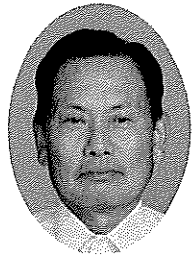
- 三世代 笑いあふるる 良い家庭 山下八重(半月)
- 親と子の 対話で築く 明るい家庭 木学隆次(鳥居)
- 大切な 家庭・地域の 助け合い 角 裕也(豊浜中3年)
- あいさつに 笑顔でこたえる 明るい地域 角 可奈子(豊浜小6年)
- おはようと 元気な声が 聞ける町 相川莉沙(豊浜小5年)
- 未来へと 心をつなぐ 地域の輪 岡田慎吾(豊丘小5年)

◆広報紙名の部 入選 応募数 56名

- ほのぼのニュース 山田まさ子(高浜)

◎たくさんのご応募ありがとうございました。

家族とのきずな



豊浜地区区長会会長 三澤 田 廣

このたび、豊浜地区家庭教育推進連絡協議会が発足し、青少年の健全育成のための活動が開始されました。昨今の青少年問題は、私たちの時代には考えられない事が次々とおきております。中でも、人の命、何の罪も無い動物の命までも奪ってしまふ。一番尊いはずの命を命とは思わない考え方、その思いはどこからくるのでしょうか。豊食で物も満ち溢れておるこの日本国、何が不満なのでしょう。平和であるがゆえに刺激がない。もったいない話ではないですか。つまりは、「心の貧しさ」家族との「きずな」が十分でないのです。もっと、家族との話し合いの場を持つコミュニケーションを大切にしていきたいと思います。そして、この活動は組織だけでなく、各地区一体となって取り組んでゆかなければなりません。区長会と致しまして、皆様方と手を取り合い一生懸命協力させていただきます。よろしくお願い致します。

平成10年度 豊浜地区家庭教育推進連絡協議会 (青少年を守る会)

事業計画

	学習・広報部	ふれあい活動部	教育環境部
	設立総会		
6月	部会	子ども鯛まつり(豊浜)部会	部会
7月	部会 活動テーマ・標語 広報紙名の募集	浜遊び(豊丘)部会	部会
8月	広報編集会議	グラウンドゴルフ大会 夏休みラジオ体操 三世代盆おどり大会	
9月	部会		部会 啓発用立て看板設置 家推協掲示板設置
10月	広報紙発行	部会 コスモスイベント(豊丘) 魚つり大会	部会 花いっぱい運動 街角巡視
11月		部会 区民体育祭	部会 クリーン作戦
12月			部会 街角巡視
1月	部会 広報編集会議	部会 親子歩け歩け大会	
2月	部会 教育講演会 おじいさん・おばあさんと遊ぼう	部会	
3月	広報紙発行		街角巡視
	活動のまとめと反省		

ふれあい広場

グラウンドゴルフ大会

中村 家田 咲子

夏休みの一日、親子でグラウンドゴルフ大会に参加しました。初参加でしたが、ルールはとても簡単で、十六ホールを楽しく回ることができました。汗を流すことも、とても心地良かったです。日々忙しい生活の中で、なかなか子供と話す機会もありませんが、親子で一つのボールに喜ぶ一憂して、またいろいろ話もでき、有意義な時間が持てました。

ホールインワンが二人出て、大会もとても盛り上がりました。



じょうずに入れてね グラウンドゴルフ大会

グラウンドゴルフ大会に参加して

豊浜中三年 山下 愛

私は、三年間女子バレー部のみんなといっしょにグラウンドゴルフ大会に出ました。今年も豊浜地区家庭教育推進連絡協議会の役員の人達が一生懸命指導してくださり、そのおかげで大会がスムーズに進み、親子ペア・中学生ペア共に熱いたたかになったと思います。また、地域の人達とふれあいがいいですね、この大会でいろいろな人達からいろいろなことを学んだと思います。本当に楽しい一日だったです。ありがとうございました。

ラジオ体操に参加して

中村 森 勝子

「健康は一生の宝、これはだれもが望んでいる事です。私も恩師からも亡き姑母からもいただいた言葉です。体が思う様に動く、素晴らしい事です。ラジオ体操のある朝、八十才を越されたおばさんに、「毎年来てるから手足がよく伸びて若々しいよ」といいますと、「わしはこの体操を楽しみにしている。みんな自分の事だからな」とさわやかな答えです。朝の気持ちよい空気が心地よい汗。二才半の孫娘は、棒ジュースを手に、健やかな胸を...とうたっていました。



わっしょい、わっしょい 子ども鯛まつり(豊浜小)

老人ホームのおとしりと七夕の集い

豊浦保育所

特別保育事業(地域活動)の一環として、七月一日に、七夕の笹や、飾りを一杯持って、老人ホームを、訪問しました。車椅子で、一同に集まったおとしりより、表情も明るく、うれしそうに迎えてくれました。出来上がった笹飾りの前で、ミュージックベルの合奏をしたり、いっしょに歌を歌ったり、手あそびをしたりして遊びました。おとしりよりの、ふれあいを通して、やさしさや、思いやりの心の芽生を育むことができれば、と思っています。

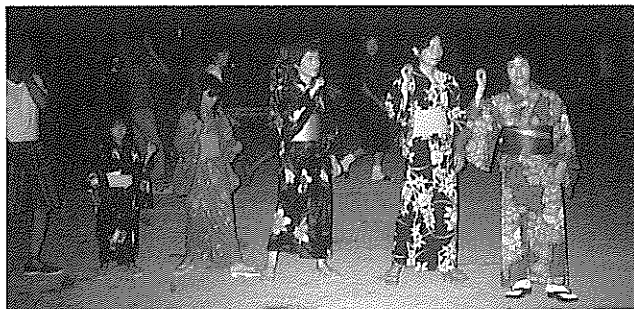


何ををお願いする? 豊浦保育所

三世代盆踊り

鳥居 澤田 成人

今年も、各区の皆さんの御協力により、盆踊り大会が催されました。子供も大人も、色とりどりの浴衣で、踊りに参加したり、夜店の金魚すくいや、ヨーヨー祭りなどを、楽しんでいました。しかし残念ながら、自分の子供の頃と比べて、参加人数が、年々少なくなってきました。地域の人々との交流を深める為にも、一年に一度の盆踊り大会という行事に、皆さんで参加されて、ますます盛り上がりがあるものにして行きましょう。

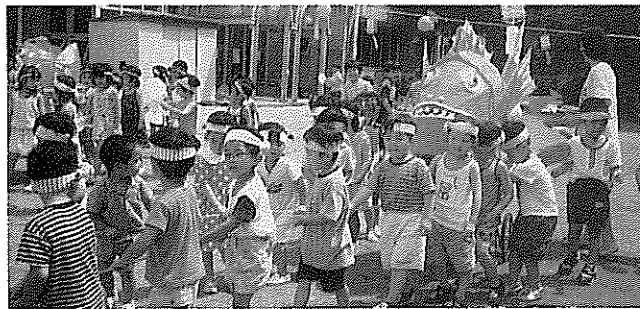


皆んな 輪になって 三世代盆踊り

お祭りごっこ

かも保 相川 真理子

7月27日、子どもたちが待ちに待ったお祭りごっこ。黄組がみんなでお祭りごっこ。黄組がみこしと、昨年作った鯛を乳母車に乗せ、交代で引きます。本物の大きな鯛の製作中も、その周りで毎日、「目がついた」「色がぬれた」と遊びながら見ていた子どもたち。みんな本当にお祭り大好きです。見ている時もうちわであおいだり、大きな声で「ヨーヨー」とかけ声をかけたり、本番ながらの迫力でした。すてきな祭りごっこでした。



ヨーイ・ヨーイ かも保保育所

子ども鯛まつり

豊浜小二年 山本大輔

みんな、たいをつくった時間が、とても楽しかったです。みんな協力して、りっぱなたいができました。たいのれんしゅうも、たいのつっこみも、楽しくやれました。お店屋さんごっこでは、たぐさんのお母さんや一年生の子がけんをもって、かいて来てくれて、とてもうれしかったです。来年の二年生も協力してやってほしいです。



子ども鯛まつり

豊浜小二年 山下大輔

ほくのおみせは、くじびきやでした。お母さんに、「わりばしてっぼうをかついて。」とたのみました。かってもらってとてもうれしかったです。お母さんは、「みんなときようりよくして、りっぱなたいが作れていたね。とても楽しそう、お母さんもうれしかったよ。」といってくれました。ほくも、いい子どもまつりだったと思います。

子ども鯛まつり

豊浜小二年 相川恭輔

はじめ三周まわるのは、目が回りそうだったり、足がいたくなりそうでした。つぎのたいごっこは、さいしよだいにようぶだったけど二回目にはちよつとまちがえたけどちやんとやりました。そのつぎのおかぐらは、じょうずでした。そのあとのつっこみは、はしってぶつかるのが楽しかったです。さいごのおみせは、すぐにうれました。

楽しかった浜遊び

豊丘小二年 滝本麻紀

きょうは、子ども会へ四時から八時まで行きました。はじめに、すいかわりをしました。わたしはわることができなかったの、くやしかったです。わたしのつぎにやったおねえちゃんがありました。いいなあと思いました。それから、ごはんを食べました。パーベキューとやきそばでした。とてもおいしかったです。さいごに、いろいろな花火をしました。ロケット花火が一番きれいでした。とても楽しかったです。



いっぱい探れたよ!! 潮干狩り(豊丘小)

潮干がり

豊丘小六年 家田静香

私たち6年生にとっては、今年最後の潮干がり。実行委員や児童会を中心に力を合わせて、みんなで楽しむこの行事を、私は、毎年とても楽しみにしている。低学年時は、あさがり一つとれるたびに大はしゃぎした。学年が進むにつれて、あさりのとり方もうまくなった。高学年になって仕事も増え、低学年の面倒もみた。PTAの人達が作ってくれたみそ汁も忘れぬ。最後に一言。いつまでも豊丘小の潮干がりが続きますように。